



穴をあけて綴じてください



「御神木旗懸之杉旧趾」碑

**東日本大震災で被災された皆さまに
心よりお見舞い申し上げます**

本年のお祭りは取り止めとなりました

3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方の沿岸部をはじめ関東地方にも大きな被害をもたらしました。また、福島第一原子力発電所の事故は未だに収束をみていません。被災された方々、親族を亡くされた方々、避難を余儀なくされている方々に心よりお見舞い申し上げます。同時に一日も早い復興をお祈りいたします。私どもも微力ながら協力をしてまいります。

こうした状況をふまえ、神輿の渡御と神獅子舞の巡行をとともなう本年の祭礼は取り止めとなりました。なお、6月3日の例大祭の神事は執行されます。

疫気を祓う茅の輪くぐり

神道では罪穢つみけがれや疫気えいきをはらい、清々しい命のよみがえることを尊び、また大切にしています。6月30日の夏越なごしの大祓おほほらえには、社殿正面に設けられた茅の輪をくぐって疫気をはらい、健康と長寿を祈りましょう。

会員総会のお知らせ 6月25日(土)午後1時

記

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1、日 時 6月25日(土)午後1時 | ③平成23年度事業計画案及び
収支予算案承認の件 |
| 2、場 所 六郷神社社務所 | ④役員改選の件 |
| 3、議 題 ①平成22年度会務及び事業報告の件 | ⑤その他 |
| ②平成22年度収支決算書承認の件 | |

監 査 報 告 書

監査の結果平成22年度決算報告書は正確であることを認めます。

平成23年5月13日

監 事	吉野 鷹 夫 ㊟
監 事	森 佐 喜 次 ㊟

六郷神社崇敬会 平成23年度 収支予算案

(平成23年4月1日より平成24年3月31日まで)

(1) 収入の部				円
個 人	会	費	1,200,000	
法 人	会	費	220,000	
雑	収	入	130,000	
前 期	繰 越	金	84,718	
合		計	1,634,718	

(2) 支出の部				円
協	賛	金	670,000	
会報発行費(第44,45号)			235,000	
事	務	費	53,000	
通	信	費	155,000	
会	議	費	70,000	
郵 便	振 替	払 込	30,000	
消 耗	品	費	40,000	
渉	外	費	100,000	
催	事	費	245,000	
雑		費	5,000	
予	備	費	31,718	
合		計	1,634,718	

六郷神社崇敬会 平成22年度 決算報告書

(一) 収支計算書

(平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)

(1) 収入の部				円
個 人	会	費	1,227,000	
法 人	会	費	240,000	
雑	収	入	187,568	
前 期	繰 越	金	531,041	
合		計	2,185,609	

(2) 支出の部				円
協	賛	金	702,960	
30周年事業準備金積立			382,885	
会報発行費(第42,43号)			234,150	
事	務	費	53,798	
通	信	費	157,190	
会	議	費	81,963	
郵 便	振 替	振 込	27,400	
消 耗	品	費	41,037	
渉	外	費	104,320	
催	事	費	310,338	
雑		費	4,850	
次 期	繰 越	金	84,718	
合		計	2,185,609	

(二) 次期繰越金内訳(平成23年3月31日現在)

現				円
郵 便	振 替	貯 金	66,996	
城南信用金庫普通預金			9,215	
城南信用金庫普通預金			8,507	
合		計	84,718	

【注】(三) 創立30周年事業準備金 円
 (別途積立)城南信用金庫定期預金 382,885

平成23年4月25日

上記の通り報告致します。

会 長 喜多 絹子 ㊟

この予算の金額の他に別途積立金 382,885円
(定期預金)があります。

平成22年度会務及び事業報告

一、毎月ついたち早朝まいりと講話（元旦を除く）を実施しました。及びその月に誕生日を迎える会員の誕生祭とお札の授与を行いました。

平成22年

- 5月1日 講話者は鈴木祐一
- 6月1日 講話者は山崎勝広
- 7月1日 講話者は東澤修二
- 8月1日 講話者は梅澤喜代造
- 9月1日 講話者は宮崎 豊
- 10月1日 講話者は杉山恵一
- 11月1日 講話者は森田賢治
- 12月1日 講話者は湯沢 靖

平成23年

- 2月1日 講話者は岩崎 勝
- 3月1日 講話者は上岡加寿子

二、六郷神社祭礼（6月4日～6日）にて

六郷ばやしを演奏・奉納しました。

三、11月3日 崇敬会大祭（創立記念日）

昇殿参拝の後、献木式が行われ、「日本橋」が植樹されました。境内で大日本茶道協

会の皆様の奉仕により添釜（野点）が行われました。

四、12月31日 除夜祭に樽酒を奉納しました。

五、平成23年1月3日 新春会員昇殿参拝を実施しました。神社よりご神酒と「一陽来復」の特別神札が授与され、本会からはお供物と甘酒を進上しました。

六、有名神社への正式参拝及び親睦旅行を実施しました。

平成23年2

月19日 大國魂神社正式参拝と大宮八幡宮（自由参拝）及び深大寺、サントリーの工場を見学しました。



七、「六郷神社崇敬会会報」を発行しました。

42号は平成22年5月、43号は12月に発行しました。

平成23年度事業計画（案）

一、毎月ついたち早朝まいりと会員有志の短い講話（元旦を除く）を実施いたします。及びその月に誕生日を迎える会員の誕生祭とお札の授与を行います。

二、11月3日に崇敬会大祭（創立記念日）を実施いたします。同時に献木式と添釜（野点）を行います。

三、12月31日の除夜祭に「樽酒」奉納します。

四、平成24年1月3日に崇敬会会員とその家族による初詣昇殿参拝を実施いたします。

第1回 午前10時30分

第2回 午前11時30分

五、バスを利用した、有名神社への正式参拝を実施いたします。

六、「六郷神社崇敬会会報」44・45号を発行いたします。

◆新入会員紹介

仲六一・上田淑夫

白旗杉

六郷神社は、天喜五年（一〇五七）に源頼義・義家の父子が、この地の大杉に源氏の白旗を掲げて兵を募り、石清水八幡宮に祈ったところ、士気が大いにふるい、前九年の役に勝利したので、その分霊を勧請して創建されたと伝えられています。また源頼朝が奥州合戦の途次、祖先の例にならってこの杉に白旗を掲げて戦勝を祈ったとされています。

かつて社殿の横には、途中から二本に分かれ、目通り（目の高さあたりの直径）が一丈六尺（約四・八m）・九尺二寸（約二・七m）で、高さが二百四、五十尺（約七・五m）と伝える杉の大木があり、源氏が白旗を掲げた由緒をもつ神木として人々の崇敬を集めていました。江戸時代の『新編武蔵風土記稿』には「旗懸杉」、『江戸名所図会』では「旗立杉」として記載されています。

この神木は、残念ながら枯死し、大正十年（一九二〇）七月に地上三間余（約五・五m）を残して伐採されました。その後、樹幹が腐ってしまったため、昭和四年（一九二九）五月に六角形の覆い屋根がかぶせられ、八月には境柵の玉垣が設けられ、「旗懸之杉由来」の碑が建てられました。

戦後、浮浪者が幹の中で焚き火をして損傷したため、地上約三尺（約九〇cm）を残して伐採されて根株のみとなりました。その後は、写真（昭和五五年撮影）のように、覆いがかぶせられ、玉垣と鉄柵に囲まれ、碑とともに守られてきました。

昭和六二年



（一九八七）十月、拝殿の改築のために根株は神橋（太鼓橋）の脇に移動され、保存されています。また元の場所には「御神木旗懸之杉旧趾」の碑が建てられました。

六郷神社創建に関わる神木の現在を確認し、その由緒に思いを馳せていただければと思います。（平野卓治記）

◆平成23年度年会費のお願い

年会費（平成23年4月1日より24年3月31日までの分）を、お手数でも同封の振替用紙でお納めください。社務所でも受け付けております。なお、すでにお納めの方は失礼をご容赦ください。

なお、本年は祭礼が中止のため、祭礼の日に社務所窓口にて設ける会員記帳所はございません。

発行 六郷神社崇敬会

〒一四四一〇〇四六

大田区東六郷三一十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三―三七三二―二八八九

振替 〇〇一九〇六一―三三五五三

編集 宮崎 豊・平野卓治